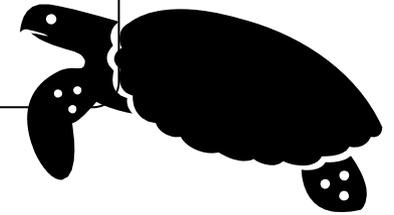


# ウミガメ学習会



高知市立春野西小学校・春野東小学校

(平成24年5月16日・平成24年5月31日)

5月から8月にかけて高知海岸にはアカウミガメ(以下、ウミガメ)が産卵にやってきます。毎年産卵にやって来るウミガメの数は増減がありますが、たくさんのウミガメがやって来る美しい海岸を目指して多くの方々にご協力いただいています。

高知市立春野西小学校・春野東小学校の四年生はウミガメの勉強をしていて実際に海岸で採卵を体験し自分たちの学校でふ化させ、8月には赤ちゃんウミガメの放流を行っています。

ウミガメ保護活動をしている熊沢佳範さんが先生になり、ウミガメ勉強会が開かれました。高知海岸出張所も子供達と一緒にウミガメの勉強をする為に参加しました。



## 春野西小学校のウミガメ学習会 (平成24年5月16日)



# ウミガメ保護活動をしている熊沢佳範さん

平成11年から高知市春野町の海岸で  
ウミガメ保護活動をしている  
熊沢佳範さんにお話してもらいました。

ウミガメは  
先輩なん  
やあ〜！！



知ってるかな！？  
ウミガメは2億年前の恐竜  
の時代から存在している。  
人間は400万年前くらいか  
らなのでウミガメは大先輩と  
いう事になるよ！！

ははっ  
(笑)！！

▼話し始めから子供達が興味を惹くお話でみんな真剣に聞き始めました

# 質問タイムの内容を紹介します

**四年生** 「一番大きいウミガメの種類は何ですか？」

**熊沢さん** 「オサガメという種類。甲羅の長さが1.8mにもなる。」

**四年生** 「産まれた所になぜ産卵に来るんですか？」

**熊沢さん** 「ウミガメの詳しい事はまだ分かっていないことも多いので、産まれたところに必ず戻っているかは不明だが・・・でもウミガメがブロックの間や細い狭い所をわざわざ歩いて産みに来ているのを見て、どうしてもここで産まないといけないという本能でお母さんカメは戻って来ているのかもしれない。最近、高知海岸でのウミガメの産卵が多くなっているのは本来産まれた海岸に戻って産みにいきたいが、産まれた海岸の砂浜が少なくなっていて産みたくても産めない環境になり、産める場所を探して高知海岸で産んでいるのではないかと考えている。」



**四年生** 「ウミガメは産卵の時、穴の中に次々と産んで卵は割れたりしないの？」

**熊沢さん** 「みんなが知っている鶏の卵のように殻が固くないので次々に産み落としても割れたりしない。大きさはピンポン玉くらいの大きさで一つの産卵で100個前後の卵を産む。」



**四年生** 「カメの甲羅のとげみたいなのは何ですか？」

**熊沢さん** 「コケとか海藻が付いている。高知海岸に産卵に来るアカウミガメは産卵の時しか上陸しないので甲羅干しをしない。だからコケが付いたままになっている。浦島太郎を見た事ある！？あのカメがアカウミガメなら浦島太郎はエライと思うよ。甲羅はさぞ汚いのによく上に乗って行ったから。」



▼浦島太郎のカメがアカウミガメなら・・・そんな想像をしている熊沢さんが面白かったです



**緊張するけど聞いてみよう！**

**四年生** 「海中で後ろから大きい船が来たらどうなるの？」

**熊沢さん** 「船との衝突は多くありケガをする事もあれば死んでしまう事ある。あと、死んでしまう原因で一番多いのは魚を捕まえる網に引っかかって死んでしまう事です。ウミガメはみんなと同じ肺呼吸なので巻き込まれて溺れて死んでしまう。」

**四年生** 「じゃあ、ウミガメは海の中で何秒間潜れるの？」

**熊沢さん** 「大体、30分～1時間くらい潜ってられる。大人のカメになると泳ぎながら眠る事も出来る。肺呼吸なのにどうしてそんなに潜ってられるか？と言うと空気をためる所がお腹にあるからなんだよ。」



**もっともっとウミガメについて知りたいな・・・**

▼聞きたい事はまだまだたくさん・・・次の採卵の時までに質問はためておきましょう

# ウミガメ保護活動をしている熊沢佳載さん

ウミガメ保護活動の七つ道具を見せてくれました。ウミガメ保護活動の証の腕章、帽子、ウエストポーチにはメジャー、デジカメ、携帯電話・・・などなど装備万端で今日も保護活動へ向かいます！



メジャーは  
巣穴の深さを測ったり、産  
卵場所が海からどのくらい  
の位置か計測する為に  
持っています。



▼この時期になると熊沢さんは朝4時半に起きて海岸を歩いて観察しています、大変です！！

# 質問タイムの内容を紹介します

**四年生** 「卵を産んだ後の親ガメはどうしてるの？」

**熊沢さん** 「ウミガメは人間の妊婦さんのように出産前にお腹が大きくなる。それはお腹に余分なスペースが無いので出産前には食事をせずお腹で卵を育ててる。産み終わったらすぐご飯を食べるんじゃないかな？」

**四年生** 「ウミガメと陸ガメの違いは何ですか？」

**熊沢さん** 「陸ガメは、手・足・ツメがあり首や足が甲羅に引っ込む。陸上で自分の命を守る為に長い年月をかけて進化した。ウミガメは、足ではなくヒレがあり首は甲羅に引っ込まない。海の中で泳いで生きていく為に水の抵抗を無くすよう甲羅はせまくヒレが動きやすいように進化した。」



ウミガメについてはまだまだ分からない事が沢山あります・・・



**四年生** 「なんでウミガメは夜卵を産みに来るの？」

**熊沢さん** 「外敵に狙われないように夜産みに来る。子ガメがふ化して海に帰るのも夜。大きくなったらアカウミガメの体の色は赤っぽくなるが、子ガメの時は黒色をしている。自分の身を守るため保護色をしています。」

**四年生** 「ウミガメの卵は食べられますか？」

**熊沢さん** 「食べられます！！」

**四年生** 「えええつつつ〜〜〜！！！！？？？」(一番の歓声でした)

**熊沢さん** 「白身も黄身もちゃんとあります。海の水はしょっぱいよね？だから卵もしょっぱいようです。でも、ゆで卵にしても白身はなぜか固まらないそうです。昔食物が少ない時代は食べていたけど、絶滅危惧種となっているウミガメの卵を食べる人は今はいません。」

▼卵を食べてみたいか??と熊沢さんが聞くと沢山の四年生が手を挙げてました！！  
現在、高知県にはうみがめ保護条例があり、許可なく採取等はできません。

## ▼ 休憩中の風景

熊沢さんの周りには、質問したい事がいっぱい  
の四年生が取り囲んでいました。順番に丁寧  
にみんなの疑問に答えてくれる熊沢さんは、  
とても嬉しそうな表情をしていました。



▼四年一組の皆さんと一緒に笑顔で  
記念撮影！！  
私たちも楽しく勉強出来ました。  
これからの、採卵や放流会などが楽  
しみです！！

熊沢さんよろしくお願ひします。。。